

2004年12月8日(水)

13:00 - 14:30 グループ研究

研究テーマ<カネ>コンソーシアム

参加者:小野(東邦大学)、伊藤(立教大学)、坂下(法政大学)、星野(跡見学園女子大学)

#### 1. 分担の発表

多摩アカデミックコンソーシアム(TAC)【伊藤】

大学間の協力協定のなかの一部門として機能している。

利用にあたり、ヒト(利用者)の移動からモノ(資料)の移動に発展している。

問題点もあり。

OhioLINK(米国)【小野】

図書館システム統合の伝統の上に成り立つ。スペース問題から始まる。

オハイオ州理事会のバックアップ(資金を含めて)あり。

大学コンソーシアム京都【坂下】

京都市を含めた財団。資金・運営がはっきりしている。1998年設立認可。

国公立大学51校が参加、分野の幅が広い。

図書館共同事業は、図書館共同事業検討委員会(委員9校)のもと2003年から開始。

CAN私立大学コンソーシアム【星野】

利用にあたり、ヒトもモノも移動する。モノの移動は無料。

名古屋のひろい地域をカバーしている?

京阪奈ライブラリーコンソーシアム【星野】

資料の電子化のための許諾交渉・電子ジャーナルの共同購入交渉等の活動。

企業が参加、大学図書館は2館。

#### 2. 次回は、残りの分担の発表。

グループ研究の方向として、人材育成・人的交流・レファレンス等を含むコンソーシアムも探索してみる。

#### 3. 開催予定:2005年1月12日(水)13:00より 慶応義塾大学にて

#### 4. 配布資料:各自分担発表の資料